

SBIグループのCSR活動

SBIグループの社会貢献の4つの柱



人材育成への取り組み

SBIグループは、日本の未来を担う「有為な人材」を一人でも多く輩出していきたいと考えています。私たちが育成を目指す「有為な人材」とは、一部門・一企業の利益に貢献するだけではなく、広く経済・社会に貢献しようとする高い志を有し、確たる倫理的価値観と実行力を伴う胆識を備えて、ビジネスにおける高い専門性を備え、国際的視野を持った人物のことを言います。

新卒採用について

採用についてはこれまで、社会人経験のある転職者を中心でしたが、SBIグループでは、2005年度より初の新卒採用を開始し、2006年4月に42名、2007年4月には91名の新卒者が入社しました。これは、急速に業容が拡大するSBIグループの未来を担う優秀な幹部候補の確保と、独自の企業文化を育み継承する人的資源の育成を目的としたものです。

SBI大学院大学(仮称)の開設に向けて

2006年5月、インターネットを駆使した新しいスタイルの「理想の学び舎」として、SBIユニバーシティ株式会社を設立しました。

SBIユニバーシティは、「新産業クリエイター」を標榜するSBIグループが、産業育成のみならず、人材育成にも本格的に取り組むことを目指して設立し、オープン・ユニバーシティとして高い意欲と志を有する人々に広く門戸を開放し、互いに学び合い、鍛え合う場を提供しています。公開講義はこれまで9回(2007年7月末現在)実施しており、講義内容は企業経営に不可欠な「人間学」にまで渡っています。

2007年4月には、SBI大学院大学の設置を文部科学省に申請し、2008年度の開設を目指して大学院の設立準備も行っております。CEO自らが学長につき、企業経営者らによる実践的な講義のほか、孔子の論語や孫子の兵法などについても講義を行っていく予定です。

CSRへの取り組み

企業は社会の一構成要素であり、社会があって初めて事業を営むことができます。したがって、企業は社会の維持発展のために貢献していかなければ、ゴーイング・コンサーン（永続企業）として存在していくことはできません。だからこそSBIグループは、「企業の社会性」を強く認識し、「強くて尊敬される企業」の実現のため、CSR（企業の社会的責任）活動に積極的に取り組んでいます。

SBI子ども希望財団を通じて活動を強化

SBIグループは、直接的な社会貢献として、利益の中から適切な範囲内で児童福祉施設等への寄附を行うことを基本的な考えとしています。2005年10月に厚生

労働省の認可を受けて設立した「財団法人 SBI子ども希望財団」を中核として、児童福祉問題に積極的に取り組むなど、直接的な社会貢献活動を強化しております。

子ども希望財団の具体的な取り組みについて

1. 施設への寄付

被虐待児童入所施設的环境向上・改善のために、2006年度はグループ各社総額で約3億9千万円の寄附を行いました。それを原資として、174の施設に対し2億5千9百万円の寄附を実施しました。

寄附実績	寄附金額(百万円)	施設数
2006年度	259	174
2005年度	155	105
2004年度	167	173

※2004年度はSBIグループとしての活動、2005年度以降は財団としての活動

2. 職員研修

児童養護施設に勤務するケアワーカーを対象に、虐待を受けた子どもへの治療的養育に必要な知識及び技術の習得を目指したオンジョブ・トレーニングを、東日本地区(2006年10月31日~11月2日)と西日本地区(2007年2月21日~23日)の2会場にて提供しました。

3. 自立支援

施設退所後の児童の自立に向けた支援活動として、5施設(自立援助ホーム支援及びシェルター事業支援)を対象に、15百万円の寄附を実施いたしました。

4. 啓発活動

SBI子ども希望財団は2006年より「オレンジリボン・キャンペーン」(児童虐待防止の社会的啓発運動)を後援し、2006年11月は虐待防止強化月間として、北尾CEOを始めとする役員一同がオレンジリボンを着用し、社内外への普及・啓発活動に取り組みました。その結果、オレンジリボンの配布総数は9,391個、寄附総額は348,410円となりました。



会員制健康関連サービス事業への参入について

SBIグループは、会員制健康関連サービス事業へ参入するべく、2007年4月、人々の健康を予防から治療までトータルにサポートするサービスを目指す「SBIウェルネスバンク」を設立いたしました。

尚、同年7月にスイスのアンチエイジング最大手の医療機関「クリニック・ラ・プレリー」と提携しました。また、静岡県熱海市に1万3,000坪の土地を取得し、スイス以外の国では世界で初めての展開となる「クリニック・ラ・プレリー湯河原」(仮称)を、2009年10月のオープンを目指して建設し、世界最高水準の予防・治療・アンチエイジングのサービスを提供する予定です。

SBIウェルネスバンク株式会社

事業内容

- 会員制健康サービス事業(人間ドック各種検査、スーパーDr.による治療、健康指導等)
- 一般向け健康サービス事業(メディカルSPA、アンチエイジング化粧品販売等)
- ウェルネス関連コンサルタント事業